

市民建産常任委員会報告書

平成27年12月3日

委員長 高原 伸二

市民建産常任委員会に議会閉会中の調査事項として付託を受けておりました事項について、調査の概要を報告いたします。調査に際しましては、平成27年11月6日、9日に関係部課長の出席を求め委員会を開催いたしました。

建設産業部

建設課（35分）

土木係から、公共土木事業について7月の委員会から変更があった内容を中心に、道路橋梁総務費について1箇所、道路維持費について2箇所、道路新設改良費では10箇所、橋梁新設改良費で9箇所、続いて河川総務費で1箇所、街路整備費では5箇所等の報告がありました。

管理係から、県事業の工事について平成27年9月末現在の事業が100万円以上の内容になっている10件について報告がありました。

地籍調査係から、地籍調査事業の谷山ダム付近の土地の地籍調査の報告があり、現在地権者との境界立会を行っているとのこと。

委員から、県事業工事について河川の浚渫を県に要望したあとの進捗状況はどの間に、浚渫を強く要望した要望書を提出し、現在は回答待ちの状況とのこと。

※次回より場所を分かりやすくするために地図を添付するとのこと。

水道課（42分）

配水係から、前回の委員会以降の委託1件及び工事7件の発注状況について、3件の完了事業と4件の事業の進捗状況及び1件の中止事業の報告がありました。

浄水係から、前回の委員会以降の平成27年度花鶴揚水機場導水ポンプ設置工事について報告がありました。

管理係から、現在、古賀市は福岡地区水道企業団から受水を行っている状況だが、春日那珂川水道企業団からの援助要請があったことを受け、平成27年10月16日から平成28年3月31日まで、日量1,000m³協定水量の一部を一時的に春日那珂川水道企業団へ変更することとし、平成27年度においては、本市の受水費が約1,500万円程度削減となる見込みとの報告がありました。

委員から、市長の公約である、水道料金3割値下げがどうなっていくのかとの間に、どういう形が一番メリットがあるのか、どういう形をとればデメリットが出てくるのかというところで一番最適な方法を探っている状況。ある程度の方角を今年度中に出したいとは考えているが、必ずしもそれを約束できるというものではないとのこと。

下水道課（31分）

下水道係より、前回委員会からの変更箇所及び現在の工事の進捗率について、公共下水道事業から、補助事業10件（うち繰越事業2件）は、施工予定5件、施工中4件、完了1件についての報告がありました。単独事業13件（うち繰越事業1件）は、施工予定8件、施工中4件、完了は1件について報告がありました。

農業集落排水事業から、薦野・米多比地区の補助事業について14件（繰越事業5件）の内、施工

予定 8 件、施工中は 5 件、完了 1 件の報告がありました。

合併処理浄化槽設置整備事業については、当初予定基数 25 基に対して、10 月 29 日現在の交付申請受付基数は 10 件となっているとのこと。

委員から、古賀水再生センターにおける消化ガス発電設備導入可能性調査業務委託について、取り入れられる部分・感想をとの間に、現在、業者選定が終わって、今後打ち合わせを行いながら、先進地にも視察に行きたいと考えている、現在回答できるようなものがないとのこと。

商工政策課（46 分）

企業支援係より、無料職業紹介所の成立状況は平成 27 年 4 月から 9 月の実績で、採用決定者数 190 人。内訳として、男女別、市内・市外の企業への就職、正社員・正社員以外等の分析結果の報告がありました。また、その中には母子世帯の方が 9 名、生活保護の方が 12 名、身体障がい者の方が 4 名、知的障がい者の方が 2 名、精神障がい者の方が 4 名との就職決定者の報告がありました。

商業観光係より、消費生活センターの平成 27 年 4 月から 9 月までの相談件数の累計が 127 件で、前年同期比 42 件の減。相談数が多い項目は、運輸通信サービスが 30 件、その他の相談が 18 件、金融保険サービスが 11 件、多重債務などの商品一般が 8 件の順とのこと。相談年齢別では、以前は 60 歳代の高齢の方が多く占めていたが、今回は 30 歳代の若い方の相談が多くなっている。しかし、相談者の匿名性からその他不明が 65 件と過半数であることから、年齢層の把握や分析ができかねる状況等の報告がありました。続いて、平成 26 年度からのボトムアップ事業の古賀市トライアル発注事業についてや、古賀市ふるさと応援寄附事業、まつり古賀を含む 3 件のイベント等について報告がありました。

農林振興課（28 分）

農林振興係より、農業振興費関連で農産物移動販売促進事業補助として、コスモス広場利用組合に対する、移動販売用車両の購入補助を行っており、10 月 30 日に納車、11 月 2 日の移動販売から利用されているとのこと。農地費関連では、農業用施設機能維持活動支援事業（多面的機能支払交付金）の小山田、薬王寺、米多比の各農区についての進捗状況、それから、谷山、薦野地区の平成 28 年度からの取り組み予定の報告がありました。次に商工振興費の地域経済活性化事業費関連として、農産物消費拡大事業の報告がありました。他に谷山地区において、農事組合法人アグリたにやまが設立され、10 月 27 日に設立総会が開かれ 24 名が参加。小野南部地区の基盤整備をされた地域のうちの、谷山の農地についての担い手になっていく予定とのこと。

農政係より、農業総務費関連では、耕作放棄地再生事業について 1 件、農業振興費関連では、地域農地有効利用推進事業で 1 件、農業者育成事業で 1 件の計 2 件報告がありました。

農林土木係より、農地費関連について、3 件完了を含む 5 件の改良工事の進捗状況報告がありました。

都市計画課（27 分）

平成 27 年度の主な事業について、花見東地区公園整備事業について、10 月に相続手続中の一筆を除いて、すべての地権者の方と土地売買の仮契約を締結した。第 4 回定例会において、その仮契約の締結分について議会に上程し、議決を得た後、平成 28 年 1 月ごろに工事の発注をする予定とのこと。玄望園雇用創出基盤整備計画事業、空き家空き地対策事業について等の報告がありました。また、古賀市モーター類似施設建築規制条例に基づく審査会の報告の中で、九州を中心にホテル業を展開している、ホテル A Z 系列の古賀店建設があるとのこと。建設の位置は、天神 4 丁目の中川

地区の岡部機械工業の社有地の場所であり、建築物の概要については、建物は6階建てとなっており、部屋数はシングルとダブルを合わせて133室を予定。また建築スケジュールについては、平成27年10月から工事に着手しており、平成28年3月に竣工予定、同年4月からの営業開始を見込んでいるとのこと。

市民部

環境課（63分）

環境整備係より、第2次古賀市環境基本計画に伴う環境報告書については、現在語句説明追加や、図の修正等を行い、環境審議会の会長と協議を重ね、最終調整となっており、11月下旬公表予定とのこと。また、ぐりんぐりん古賀(古賀市環境市民会議)の報告、グリーンカーテンの匠事業についての報告、地球温暖化防止推進事業について2件の報告後、畜犬に関して、現在3348頭、注射頭数は1969頭で、注射率は58.8%との報告がありました。

ごみ対策係より、循環型社会形成推進事業について、家庭系ごみと、事業系ごみについての報告があり、剪定枝チップ機購入費補助や、生ごみ処理機器購入費補助件数についても報告がありました。バイオマス発電については、これまで発電のみでの検討を進めていたが、発電だけではなく、熱利用を合わせて活用することがよりよい調査になるとの考え方が出ており、工業団地において発生する廃棄物をバイオマスにより電気と熱に変換し、それを工業団地内で利用するという、エネルギーの地産地消の大きな仮説を立てて、現在その可能性の検討に取りかかったところとのこと。

海津木苑より、処理状況及び維持管理費について、平成27年4月から9月までの搬入量、処理にかかる薬品使用状況の報告、放流水の水質検査結果は、廃棄物処理法の基準値及びセキスイの保証値以下との報告に続き、平成27年度海津木苑整備工事の発注状況について、し尿処理将来構想策定に伴う地元との協議会について報告がありました。

人権センター（15分）

人権教育・啓発係より、人権尊重週間の取り組みについて、人権尊重週間中に開催予定のいのち輝くまち☆こが2015の取り組みについて、古賀市社会同和教育推進協議会の取り組みについて、相談事業について、出前講座と人権の花運動について等の報告がありました。

収納管理課（17分）

収納管理係より、平成27年度の市税・国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の収納状況（平成27年9月末現在）について、次に、滞納処分実績状況の説明がありました。

委員から、預金の差押え処分実績が、対前年度同時期と比べて39件が今年度263件という数字になっている。この原因について説明をとる間に、昨年度滞納整理システムを導入し、財産調査や差押え処分がこれまでより効率よく実施できるようになった結果、今年度の差押え件数が増えているとのこと。

市税課（10分）

市民税係より、還付申告の受け付けについて報告がありました。還付申告会場がイオンモール福津に設置されることになり、主な対象区域は宗像市、福津市、古賀市で、香椎税務署に行く必要がなく、還付申告会場で申告をすることにより、還付までの期間短縮が図られ、市民の利便性が向上するとのこと。期間は土日を除いた平成28年2月2日火曜日から、2月9日火曜日までの設置となり、これに伴い、古賀市での還付申告等の受付開始は香椎税務署と同じく2月12日から還付申告と

市申告の受け付け、2月16日から本申告の受け付けとする予定とのこと。

資産税係より、償却資産の取り組みについて、県内の各自治体にまたがっている事業所に対して、県下の各市町村で一斉に積極的に調査を行うという取り組みを現在行っているとの報告がありました。その他、税を知る週間についての報告があり、最後に、地方税法その他の関係法令の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、古賀市の市税条例の一部を改正する必要が生じ、本年4月1日施行分については、第2回定例会において審議。平成28年1月1日以降に、施行日が到来する分については、同条例の一部を改正する条例の議案を第4回定例会に提出予定とのこと。

市民国保課（21分）

人口等及び住民基本台帳カードについて(平成27年9月末)、古賀市の総人口及び世帯数ともに、先月に比べ微減となっているとのこと。次に、外国人国籍別人口についてと、住民基本台帳カードの交付枚数について報告があり、続いて国民年金ほか各種制度対象者数について報告がありました。

委員から、ニュースなどで住民票にマイナンバーを記載したという事例が報道されているが、市民国保課での安全管理規程の研修については既にあったのか、あるいは今後予定しているのかとの間に、安全管理規程の研修については、総務課が作成し、11月30日と12月2日に、全職員を対象に研修をすると聞いているとのこと。

以上、所管事務調査の概要報告を終わります。